

碁盤は19×19の361目、一方将棋盤は9×9の81マスと、戦うエリアは圧倒的に狭いのですが、その81マスに宇宙があると言われています。囲碁の場合、初手は361通り、次に差す手は359通りと手が進むにつれて指す手は減っていくのですが、将棋は初手で駒を動かせる手は30通りのみ。しかし手が進むに連れて、指せる手がどんどん増えていくのです。しかも、3手先までの場合の数でいうと、仮に1手で100通りあるとすると、 $100 \times 100 \times 100$ で100万通りとなります。その中から最善の手を考える。130手目で勝負が決まった場合、それまでの場合の数は天文学的数字となるのです。だからプロ棋士は将棋盤の中には宇宙があると表現するのでしょうか。宇宙は無限ですから将棋を極めるのも無限であり、今のところ将棋を極めたという人はいないのです。だからプロ棋士はみな謙虚なのです。

将棋というのは、宇宙に飛び出して対戦相手と無言の対話をする事なのだと思います。「こう指したらどうしますか」「そう来るならこう受けましょう」という風に。名勝負になるためには強い対戦相手が必要なのであります。名勝負といわれる棋譜は、さしずめ二人の棋士が共同で作った歌ともいえましょう。今回王座戦に勝って全八冠も独占した藤井聡太棋士、対戦後のインタビューでの表情はあまり嬉しそうではありませんでした。自分のミスで勝ちを逃した後、次に相手のミスで勝利を手にしたのですが、彼にとっては美しいメロディーを奏でることができなかったからでしょう。世間は大きく盛り上がりでありましょうが、彼にとっては納得のいかない将棋だったからか、手放して喜んでいない彼の表情が印象的でありました。八冠になった天才藤井の顔を曇らせる将棋、なんと奥が深いことでありましょう。

連絡事項

11月3日(金)・23日(木) 祝日にて全クラス休塾

【数学検定】 検定日 11月18日(土) 16:00~

エコキャップ回収 いつもご協力ありがとうございます。今回は4687個回収で、ワクチン5.45人分、CO₂削減量は34.335kg相当となりました。

